

EPoCH説明会

星野リゾート・トマム、北大環境科学院

産学連携記念講演会

参加無料
申し込み不要



環境科学院EPoCH説明会

平成23年4月13日(水)17時～18時 北大環境科学院会議室

トマム・環境科学院 産学連携記念講演会

平成23年4月13日(水)18時30分～20時(開場18時15分)

北大環境科学院D101講義室

「ホテル・旅館の再生事例から学ぶ、 地域の魅力づくりのポイント」

星野リゾート・トマム総支配人 佐藤大介

主催：北海道大学環境科学院IFES-GCOE 環境教育研究交流推進室

問い合わせ先：011-706-3355

詳細はWebサイトへ practise.ees.hokudai.ac.jp

講演者プロフィール

株式会社星野リゾート・トマム
アルファリゾート・トマム

代表取締役 総支配人 **佐藤 大介**



2004年11月に株式会社星野リゾートより経営破綻した古牧温泉の再生請負人として出向。従来から在籍するスタッフの潜在力を引き出し自ら考えて行動する“サッカーチーム型組織”への組織変革を進め、経営の近代化を進める。新たに「のれそれ青森（津軽弁で“目一杯青森”の意）」を運営コンセプトに据え、地域貢献も意識しつつ地域と連携し青森の地域の魅力を全面に出したハード・ソフト改革も実行するとともに、スタッフのホスピタリティ向上と労働生産性の向上をすすめ、集客・収益・顧客満足度の向上を実現させた。現在アルファリゾート・トマムをアジアを代表するリゾートとすべく変革を進めている。

<経歴>

1975年6月 大阪府生まれ（現在35歳）
神奈川県・香川県を経て少年時代のほとんどを千葉県印西市にて過ごす。
1999年3月 早稲田大学理工学部建築学科卒業
1999年4月 三井物産株式会社入社 人事部（新卒採用研修担当）、交通プロジェクト部、米国ニューヨーク駐在
2004年6月 株式会社星野リゾート入社 ホテルブレストンコート（長野県軽井沢町）
2005年11月 株式会社三沢奥入瀬観光 古牧グランドホテル（現：古牧温泉青森屋）総支配人就任
2008年2月 青森県総合計画審議委員就任
2009年4月 青森県新幹線開業対策推進本部アドバイザー就任
2010年11月 株式会社星野リゾート・トマム アルファリゾート・トマム（北海道占冠村）代表取締役総支配人就任

■星野リゾート・トマム、北海道大学大学院環境科学院 産学連携協定に至るまでの経緯

2010年の春から始まった環境科学院とトマムの共同プロジェクトでは、北海道大学が持つ自然環境科学の知見と、トマムが持つお客様を楽しませるホスピタリティを融合させた新しい地産地育プログラムの開発を進めて参りました。このプロジェクトでは、学生が主体となり、小学生とその両親を対象に、「単に雲海を見るだけではない」参加型環境教育プログラムの開発、それを使用した自然体験イベントの企画、運営までを行いました。このイベントには募集人数を大幅に超える100名以上の参加者が集まりました。当日は、残念ながら雲海は発生しませんでした。用意した雲海を学び楽しむプログラムを行い、大成功に終わったイベントとなりました。

■産学連携の取組による成果

2010年度の取り組みに対して、お客様、学会、各種メディア等から高い評価を頂きました。共通の理念の基、人材育成のための実践教育、観光の振興、そして地元地域への社会貢献をさらに強力に推し進めるため、産学連携の基本合意書を締結する運びになりました。

■今後の産学連携の取り組みについて

2011年度は、大学、そして企業が持つ相互の利点を活かし、学生とトマムのスタッフがチームを作り、スタッフが学生に対し接客のマナーや労働の心がけを講習し、逆に学生が学生視点での企業の課題抽出を行う相互の学びの場を設けます。また、大学が持つ専門性を生かしたツアー（例：子ども向け・大人向け雲海ツアー、河川生態系調査ツアー等）の企画、山岳気象やスキー場森林保全の研究等、大学が持つ知見とリゾートのホスピタリティを融合させた取り組みを計画しております。

この度締結する基本協定書を軸に、今後も企業、大学、そして地域社会が一緒に成長していく取り組みを、さらに発展させたいと考えております。